

① 参考と12 = 9 個所の井筒記を掲げると

① キリシト教に於けるイエスと云ふは、
ムハニマドはイスラ-ムに於ける全くのただ
の人である。従にイスラ-ムに於ける教義の歴
開につれて、^{何に} ~~何~~ かの特殊性、神秘性を
ムハニマドに認めよとあり、動きもあ
わられたか、^{ハテ}、^イ、^スの信とることを
すればムハニマドは何か特別に人間あ
かされることと嫌。且つ、^テの^スに^マ
るとして信徒達には「よくわたくし」。即
ち、^カなくともムハニマド自身の自覚に

於「ては、猶はたたの人ごあり、そうあ
るべきだと考えて「たのごある。これは
 イスラ-4にとつては大変重要なことで
 あって、アッラ-はたたの人ごある4ハ
 ニマドに啓示を下したのごあり、たたの
 人ごあるが故に啓示を下す相手は4ハニ
 マドの代りに誰ごもあらなかつたのごあり、
豊かごも、或は私ごもあらなかつたのごあ
る。アッラ-と我らの人間とは4ハニマド
 と仲介とある間接的な関係にあるのごあり

HL

HL

なく、ア...ラーと41ニマドの間の直接
 性は直にア...ラーと~~貴方~~方。ア...ラーと
 私との間の直接性と何~~も~~異なることは
 ない。である。イスラームは~~偶然~~に~~産~~ば
 れた~~身~~一人のた~~た~~一人に下された(下
 されたことは~~偶然~~である。である)。
 全~~て~~のた~~た~~一人に必然的に~~か~~か~~わ~~る~~教~~え
 である。

② 二の~~箇~~所以外~~も~~フルパーニの~~説~~は~~ご~~き
 子~~た~~た~~け~~意味を正確にお~~し~~すと~~を~~期し、~~説~~

箇

文の流麗さとか原文の文体の反映とかは
 (俗に望んでも) 筆者の能力と二を三と
 とは「え) 期すなかつた。従って直訳的
 にあき、訳と「き」は「な」たきさ
 「かあまかあえてるのま事に「あ」た
 。訳文中の括弧()内は筆者の補筆であ
 る。

③ 4「ニマド」在世中に活動して「た hamif
 (huna fā) の思想と 4「ニマド」自身と
 の関係は ~~また別の大きな問題とすべきで~~

(下史の行) の仔細
 について

(3) 意味で「帰依者」として記述されている。

二二二二は論に可

④ 3章67節(60)。muslimとは自分の全てを
 抛げて相手(= の場合アッラー)に服従
 する人のこと。これはそのまゝ英語として
 イスラーム教徒の意味で用いられる。
 日本語でもイスラーム教徒と... 言
 葉より「イスラーム」と... 言葉⁹の方が
 よく用いられる。

⑤ 2章124節(118)。

⑥ 2章130節(124)。